

平成 30 年度岡山市市民協働推進モデル事業 最終評価表

実施団体	NPO 法人岡山・ホームレス支援きずな	NPO 法人おかやま UFE	一般社団法人ほっと岡山
協働部署	生活保護・自立支援課	住宅課	
記入日	平成 31 年 3 月 1 日		

1. 事業の目標と達成状況

事業の目標	目標に対する結果	結果の自己分析
①各居場所にて利用者へのアンケートを行い、数値や感想の変化を共有しつつ、各居場所の機能強化につなげる。	<p>(安楽亭)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催回数：34 回 ・参加人数：のべ 874 名 ・その他：アンケートの結果、食事内容、雰囲気、スタッフの対応などで高い評価を得ることができた。 <p>(うてんて食堂)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催回数：9 回 ・参加人数：のべ 119 名 (10 月末時点) ・その他：アンケートの結果、子どもからお年寄りまで、男性女性問わず「大変良かった/60.7%」、「良かった/32.1%」の回答を得た。また、2 回以上・継続的な参加者の割合が 34.5%であった。また、高齢者や障害者に限らず、笑顔で楽しく参加されている一般の参加者でも、何かしらの困りごとを抱えており、困りごとを相談できる人が誰もいないという回答が多かった。 <p>(岡輝みんな食堂)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催回数：10 回 ・参加人数：500 名以上 ・その他：岡輝公民館をはじめ、特養、デイサービスセンター、コミュニティハウスなどを巡回するような形で 	<p>【考察・課題など】</p> <p>(安楽亭)</p> <p>モデル事業にて相談機能の導入を企図したが、結果としてモーニングサービスを契機に相談を希望する参加者は大変少なかった。相談員となるスタッフへの馴染みはあっても、相談の場としての認識は少なく、さらに他の参加者が多い中、相談が躊躇されたことが理由として挙げられた。</p> <p>(うてんて食堂)</p> <p>食事の準備をしたり、他の参加者の困りごとの相談に乗るなど、参加者自身が「うてんて食堂」の運営に携わることを通じて、会話をするきっかけや活躍できる役割が生まれ、刺激や生きがいにつながったとの声があった。</p> <p>【改善案など】</p> <p>(安楽亭)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モデル事業を通じて地域住民や自治会などの地域組織との連携が重要であることが再認識できた。 ・誰もが訪れやすく、利用しやすい拠点であるために最低限のハード整備が必要であることが確認でき

	<p>開催され、各回の参加人数に違いはあるものの、合計で500名を超える参加を得た。様々な場所で実施することが潜在的な利用者へのアプローチのきっかけになっており、運営を担うボランティアも小中高生から高齢者まで多様である。</p>	<p>た。</p> <p>【うてんて食堂】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「うてんて食堂」を誰もが参加しやすい、相談しやすい場所として地域に定着させていくためには、より相談しやすい実施方法や環境整備などが必要である。具体的には①相談しやすい実施方法や環境づくりを工夫すること②人間関係づくりを緩やかにサポートすること③多面的な課題でも、より適切に支援するための連携を図ることなどが考えられる。 ・決められた役割を設定せず、誰もが気軽に参加できて、居心地の良い場所として、目的、動機、関わり方を問わない柔軟性のある活動拠点を目指す。 ・いわゆる支援者と要支援者が、その時々で支える側であったり支えられる側であったりという雰囲気を守りつつ、このような取組が他の地域においても無理なく展開されるよう、情報発信に努める。
<p>②「岡山しっぽふぁーれ食堂」での交流の中で発せられた様々な生活上の困りごとや悩みについて、参加住民や専門職が耳を傾け、必要に応じて、専門職による支援を行うことにより、困りごとや悩みの解消を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・居場所事業へ相談員の派遣を想定していたが、直接的な相談はほぼなく、NPO法人岡山・ホームレス支援きずなの相談員が常駐する事務所への電話、来所等の対応はのべ447人、893件となった。 ・相談者は高齢者や障害者といった方だけでなく、若年から中年層も多くみられ、ほとんどがアパートで単身生活を送っていた。また、高齢者や障害者でも生活支援は受けておらず、ADLやIADLの自立度は高いが、地域内に血縁などもない方がほとんどであった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル事業を通じて①金銭等の他者への相談がしにくい内容を誰が対応すべきか②医療や福祉サービス、社会保障の手続きなどを利用するまでの伴走支援を誰がどのように行うべきか③「受援」や「共助」に届かない人々への対応をどうするのかなどの課題を積み残すこととなった。 ・次年度以降もケースを積み上げた上で、岡山市への提言や地域への報告などを継続し、新たな対応策の検討などにつなげていく。

2. 協働の基本原則に基づくチェックリスト

協働の原則	チェック (できたものに☑)	指標 (※指標の番号が大きくなるほど協働が進んでいる状態を表します。)
相互理解の原則	<input checked="" type="checkbox"/>	① 実施団体と協働部署がそれぞれの役割を明文化している
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 実施団体と協働部署がそれぞれの役割を果たしている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 実施団体のミッションを理解している (協働部署が回答)。
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 岡山市 (協働部署) の方針や計画を理解している (実施団体が回答)。
	<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 実施団体と協働部署のそれぞれの強みが発揮され、弱みが補われている。
目的共有の原則	<input checked="" type="checkbox"/>	① 実施団体と協働部署が事業のスケジュールを把握している。
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 実施団体と協働部署の双方の合意によって事業目標が決定されている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 実施団体と協働部署が事業の成果・課題を定期的に共有している。
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 実施団体と協働部署が理想とする社会状況を共有している。
	<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 実施団体と協働部署が理想とする社会状況と現状とのギャップを共有している。
対等の原則	<input checked="" type="checkbox"/>	① 双方の合意によって役割分担が図られている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 実施団体の意思・意見が尊重されている (実施団体が回答)。
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 協働部署の意思・意見が尊重されている (協働部署が回答)。
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 実施団体のみに役割や責任が集中していない (実施団体が回答)。
	<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 協働部署のみに役割や責任が集中していない (協働部署が回答)。
自主性及び自立性尊重の原則	<input checked="" type="checkbox"/>	① 実施団体と協働部署が積極的に意思表示をしている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 事業またはその他の意思決定において実施団体に不当に干渉されていない (協働部署が回答)。
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 事業またはその他の意思決定において協働部署に不当に干渉されていない (実施団体が回答)。
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 事業またはその他の意思決定において実施団体に依存されていない (協働部署が回答)。
	<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 事業またはその他の意思決定において協働部署に依存されていない (実施団体が回答)。
公開の原則	<input checked="" type="checkbox"/>	① 実施団体と協働部署間で事業の進捗状況や予算の執行状況が随時共有されている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 議事録やイベントごとの報告書が作成され、実施団体と協働部署で共有されている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 必要に応じて実施団体と協働部署以外の第三者の助言を仰いでいる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 事業の案内が実施団体のウェブサイト等で随時発信されている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 事業の結果が実施団体のウェブサイト等で随時発信されている。